

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東京都町田市			代表者名	石坂丈一
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	広報課	連絡先電話番号	042-724-2101
担当者役職	主任	担当者氏名	荒木 涼太	連絡先E-mail	
住所	1948520 東京都町田市森野2-2-22				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	シティプロモーション
概要	町田市シティプロモーション計画の推進に向けた、ICTを活用した効果的な情報発信についての職員研修会(講義・ワークショップ)の実施及び相談等		
支援を求める分野	ICT活用広報		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年7月30日	講演(実地)	9時30分	15時45分	60
				活動時間(分)	315

2-2. 派遣場所	会場名	町田市庁舎	最寄駅	町田駅
	所在地	東京都町田市森野2-2-22	最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	各課で取り組んでいる各事業をICT等を活用した効果的な情報発信をすることでシティプロモーションにつながることを、講義やワークを通して研修していただいた。シティプロモーションの理解促進、情報発信の意欲を向上することができた。また、職員研修会直後に受講者アンケートを実施したところ、受講者全員から「気持ちの変化があった」との回答を得られた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	51人
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	51	その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	
事業の課題・問題点(具体的に下記記入下さい)	WEBサイト・SNS等で情報を収集する人が増えているため、ICTを活用した効果的な情報発信方法を検討する必要がある。また、シティプロモーションの推進には、広報課だけでなく、様々な事業を担当する庁内各課も情報発信に積極的になることが必要であり、全庁的に機運を高めていくことが課題である。
支援により目指す成果(具体的に下記記入下さい)	情報発信の内容やタイミング、ターゲットに適したメディアを選択する知識やスキルを高め、全庁職員の広報力を向上する。具体的には、各部署の事業の推進で生まれる魅力をプロモーションの視点をもって効果的に情報発信していくため、情報発信の内容やタイミング、ターゲットに適したメディアを選択する知識やスキルについての研修を管理職向けに実施することで、一見プロモーションとは関連が低いと思われがちな部署でも情報発信の意欲が高まるような研修をアドバイザーの方に依頼する。管理職の意欲を高めることで、全庁的な情報発信の機運を高める。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	広報課だけではなく、様々な事業を担当する庁内各課も情報発信に積極的になることが必要であり、全庁的に機運を高めていくことが課題であったが、アンケート結果から今回の研修会でうまく意識を高めていただけたことがわかった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	ワークで各部局の業務が町田市のシティプロモーションにどのようにつながっていくかを発表してもらい、共有することで職員の情報発信への意欲を高めてもらうことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 全庁職員の広報力向上につながる人材育成を行うことができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 情報発信について「気持ちの変化があった」：100%	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 各部署の事業の推進で生まれる魅力をプロモーションの視点をもって効果的に情報発信していくため、情報発信の内容やタイミング、ターゲットに適したメディアを選択する知識やスキルについての研修を管理職向けに実施することで、一見プロモーションとは関連が低いと思われがちな部署でも情報発信の意欲が高まるような研修をアドバイザーの方に依頼する。管理職の意欲を高めることで、全庁的な情報発信の機運を高める。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	各事業の推進で生まれる魅力をプロモーションの視点をもって関連事業や親和性のある内容とつなぎあわせ、効果的に情報発信していくため、情報発信の内容やタイミング、ターゲットに適したメディアを選択する知識やスキルを高め、全庁職員の広報力を向上する。それにより、観光や地域活動情報を始め、暮らしの手続き、防災情報などを、住んでいる地域に関わらず、知りたい時に知りたい情報を得られやすくなり、①デジタルデバイドの解消、②住民同士のつながりの創出③自分らしい時間や場所を持つという住民の幸せ、等を実現する。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

